

たたらリハビリテーション病院の概要と 病院機能



たたらリハビリテーション病院
緩和ケア病棟医長
福岡医療団在宅医療センター
センター長

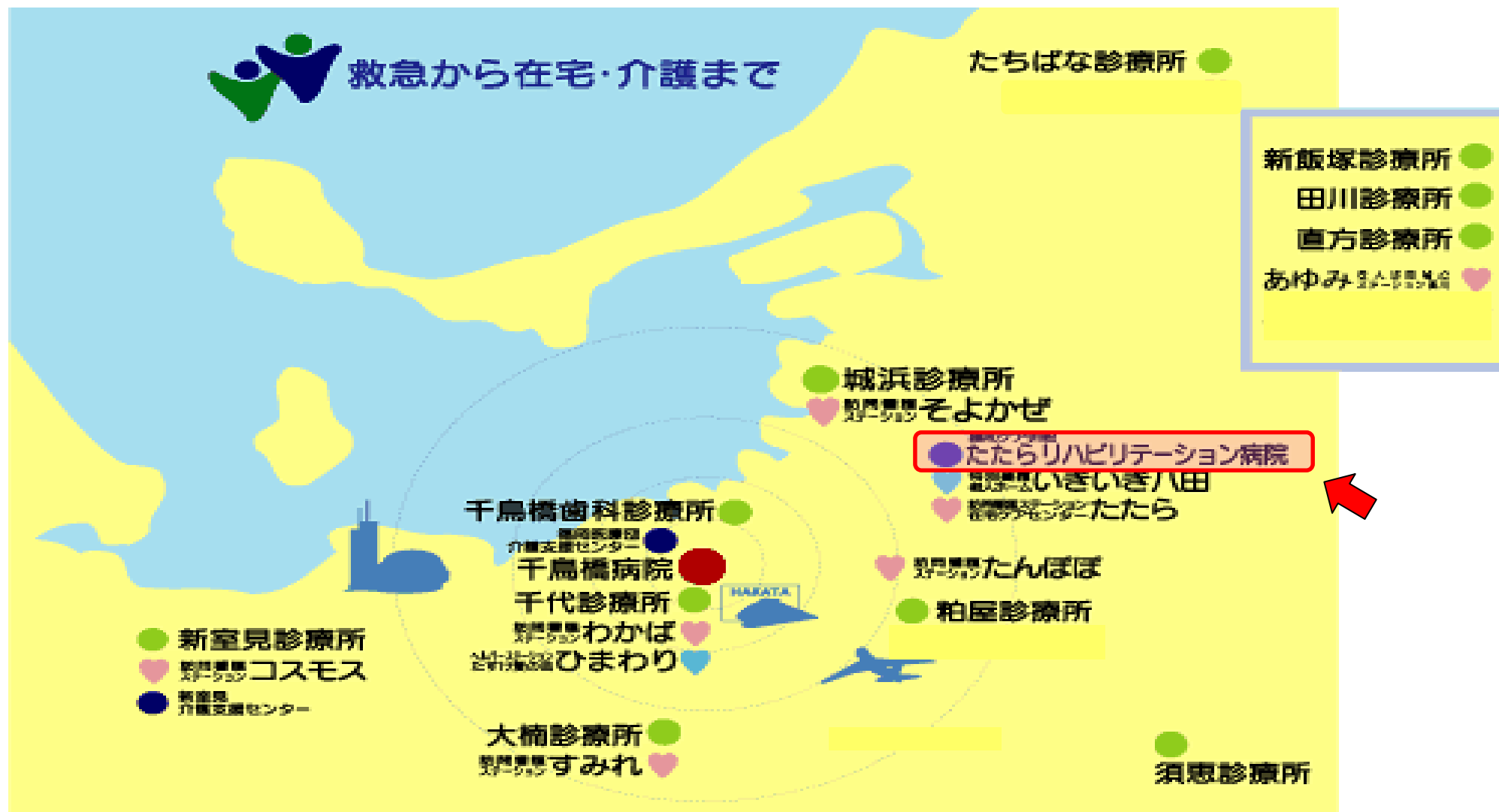
平田 済

病院概要

- 2003年10月開設
- 199床 在宅療養支援病院
- 2004年 病院医療機能評価認定 (2019年4回目の更新)
- 第2種社会福祉事業 無料低額診療
- ISO9001 (2011年10月認証～以後更新)
- HPH登録 (2012年8月)
 - ・Health Promoting Hospitals and Health Services
 - ・WHOの健康政策を実践する国際ネットワーク

法人内ネットワーク

2 病院、10 医科診療所、1 歯科診療所
8 訪問看護ステーション、2 介護支援センター



連携法人：社会福祉法人(2 特別養護老人ホーム、2 デイサービス、認知症デイ、小規模多機能、高齢者住宅)
NPO 法人(5 ヘルパーステーション、3 デイサービス、2 高齢者住宅、1 グループホーム、小規模多機能) 9 調剤薬局



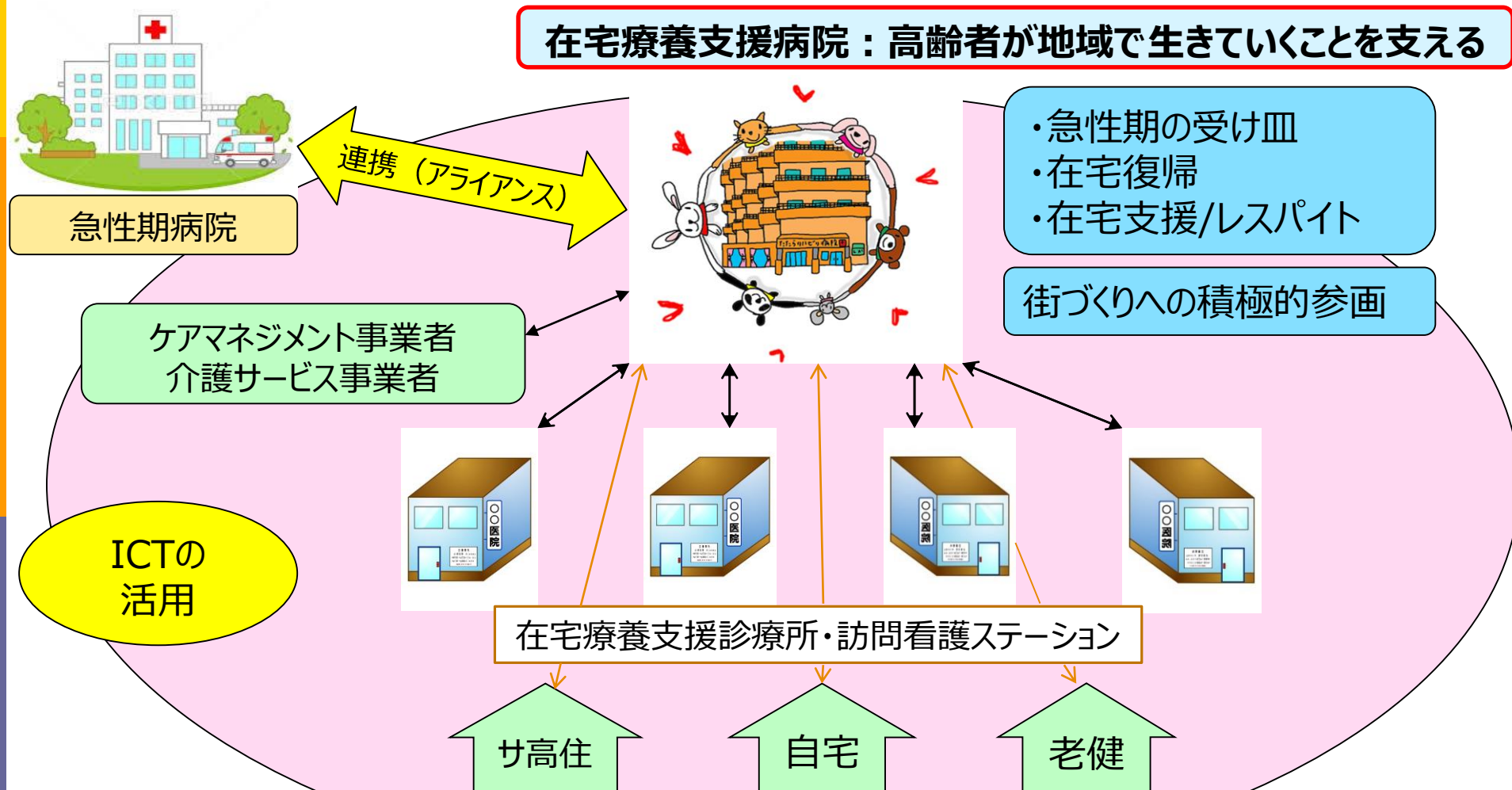
病院の役割と機能

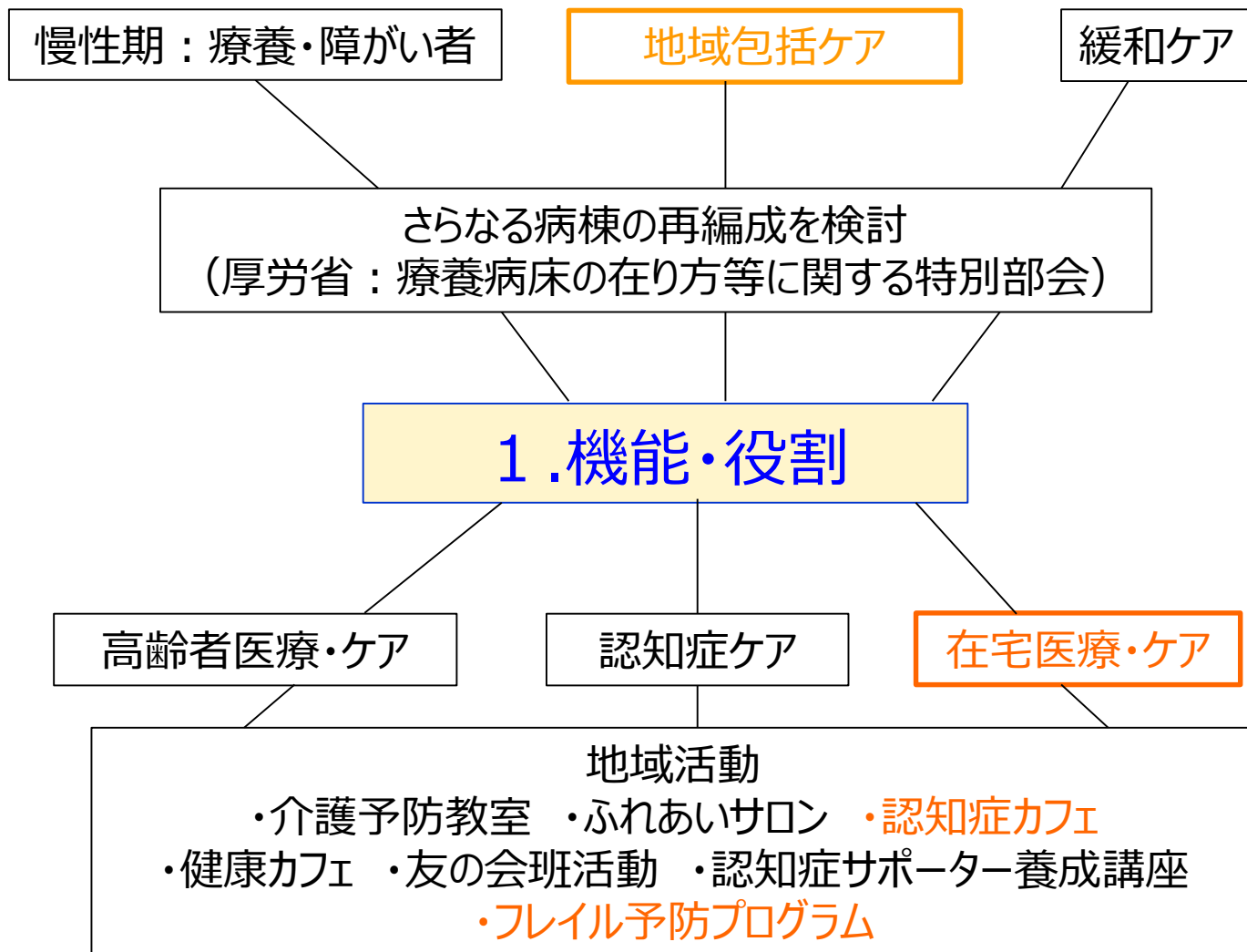
在宅療養支援病院

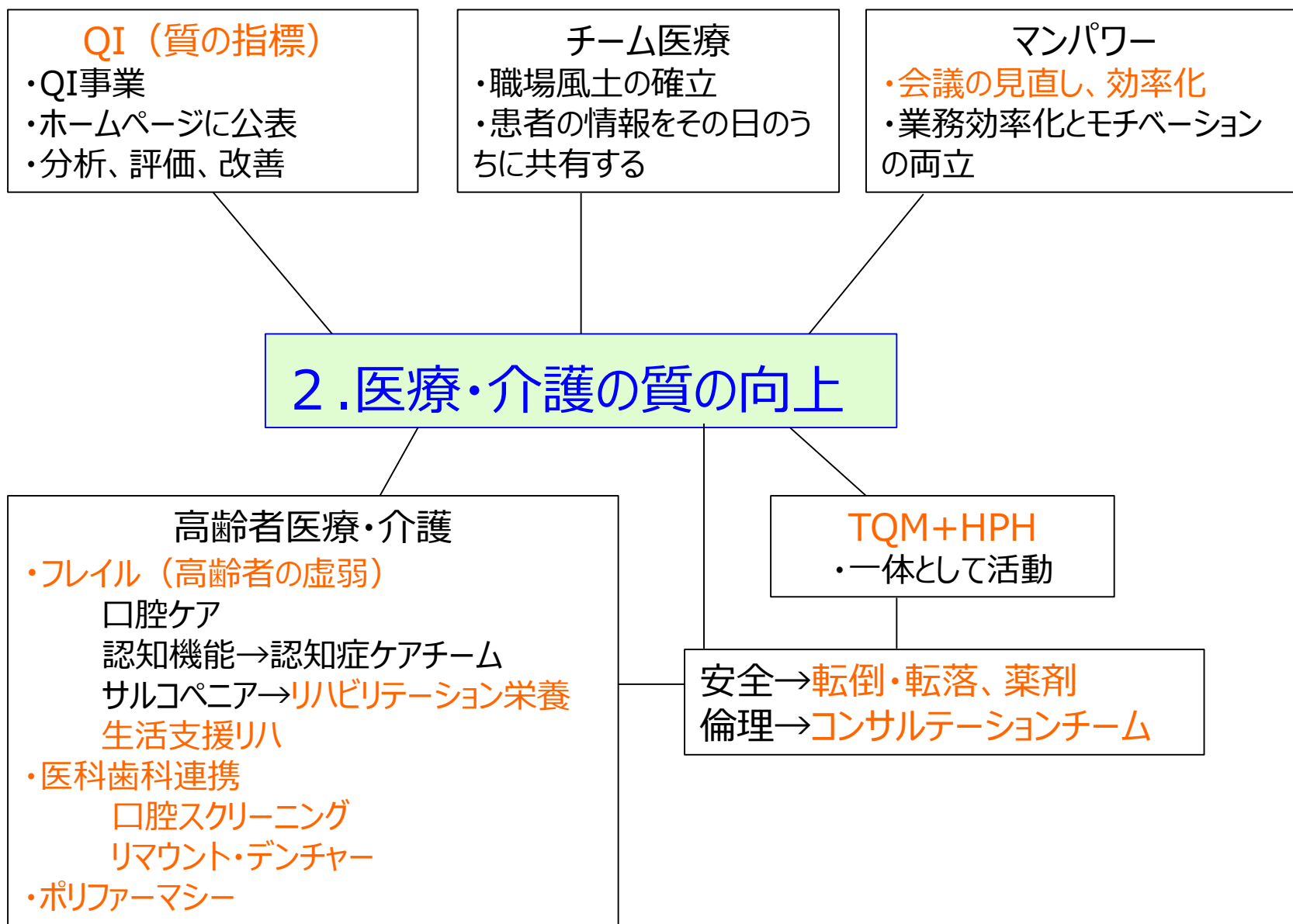
病床数：199床

緩和ケア病棟（21床）	平田・瀧田・窪田	7 F
医療療養型病棟（44床）	光安・梶原	6 F
一般（障害者施設等病棟）（48床）	田村	5 F
医療療養型病棟（38床）	嶋田・光安	4 F
地域包括ケア病棟（48床）	岩元・梶原	3 F
リハセンター・薬局など		2 F
外来・通所リハビリ・検査・放射線・歯科など	貞刈	1 F

在宅療養支援病院と地域包括ケア







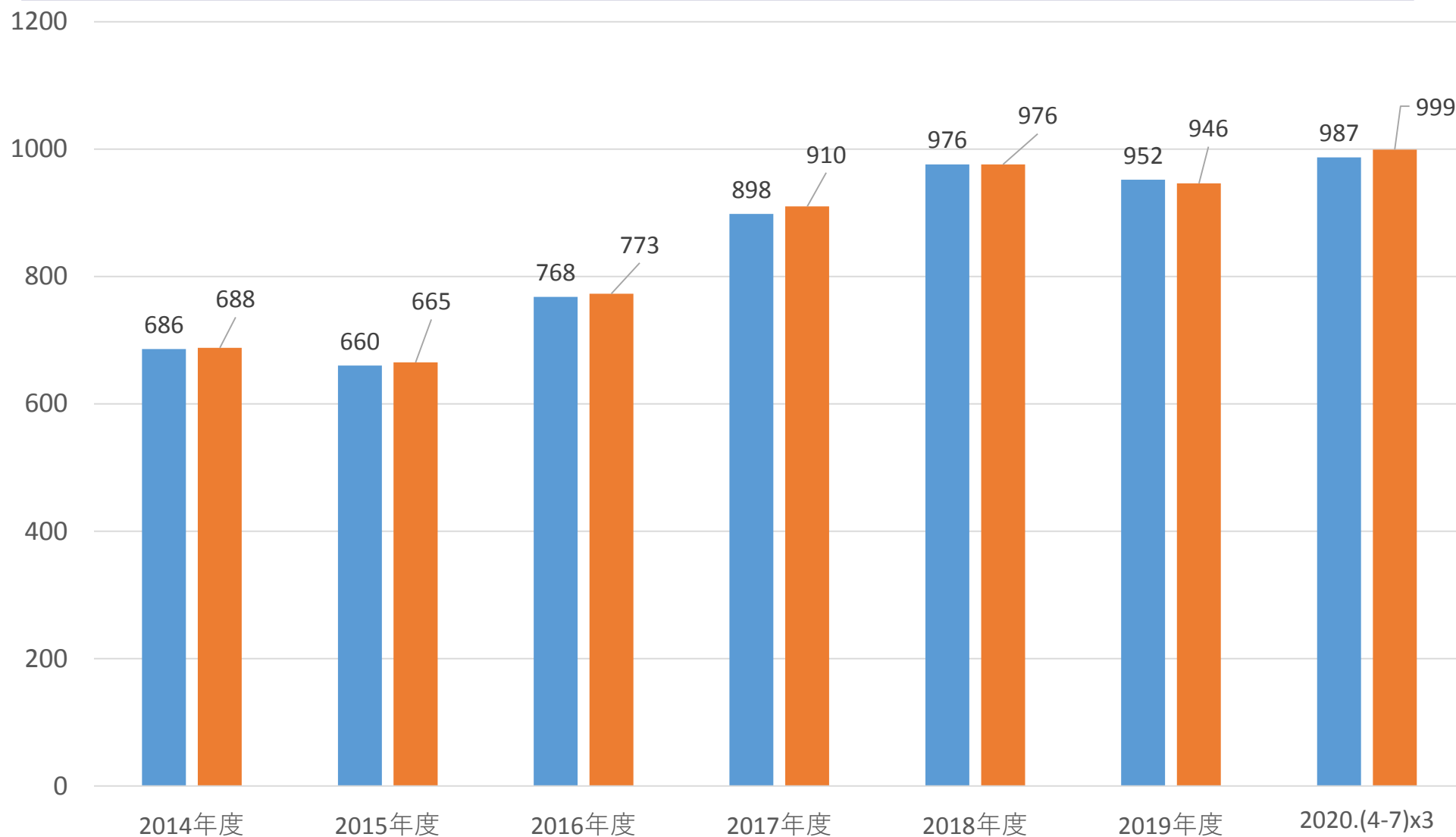


病院指標

病院全体の占床率と在院日数



病院全体の入退院数推移

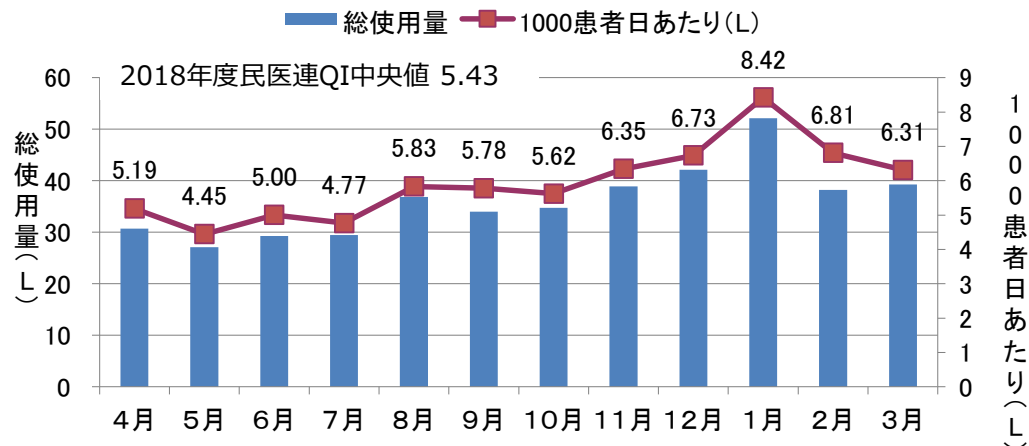
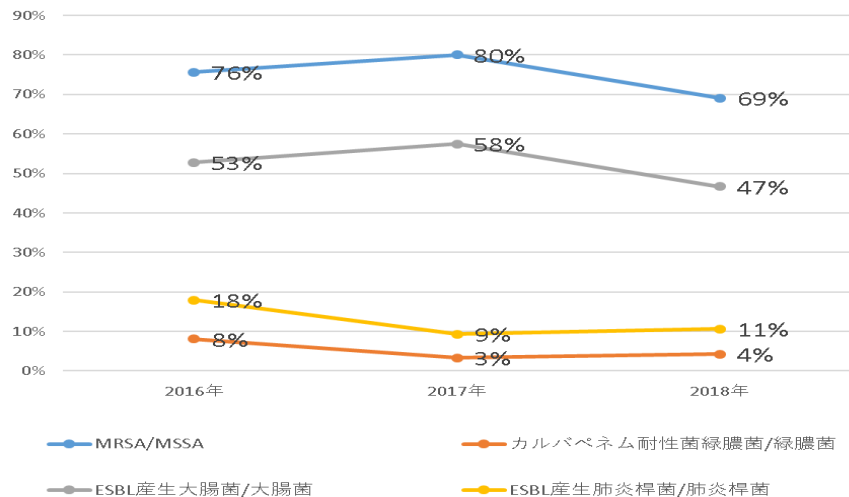




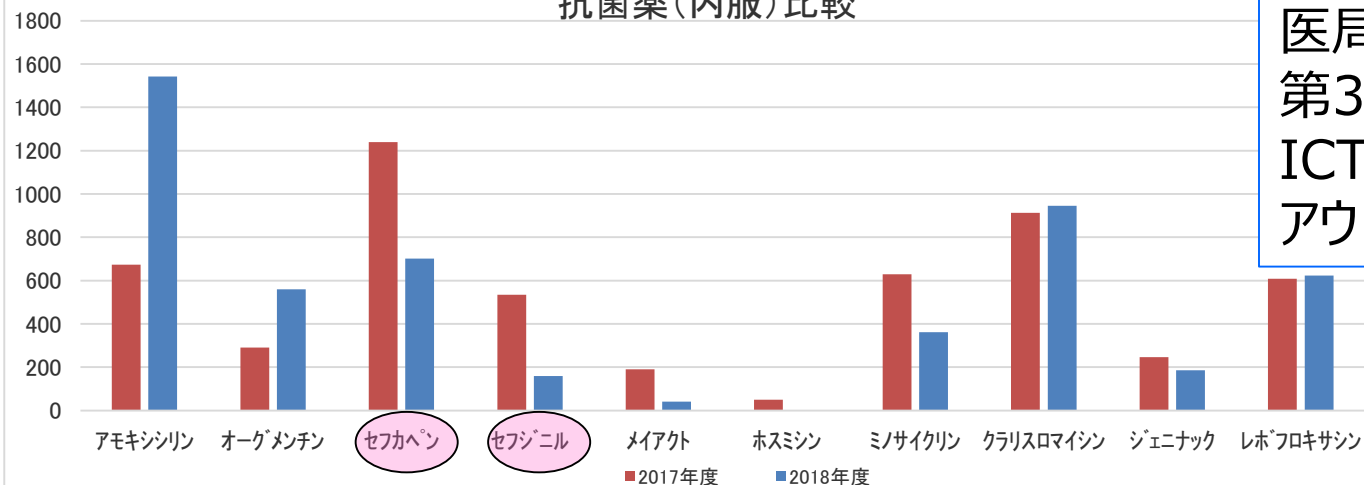
各部門の取り組みと課題

感染対策

耐性菌比



抗菌薬(内服)比較



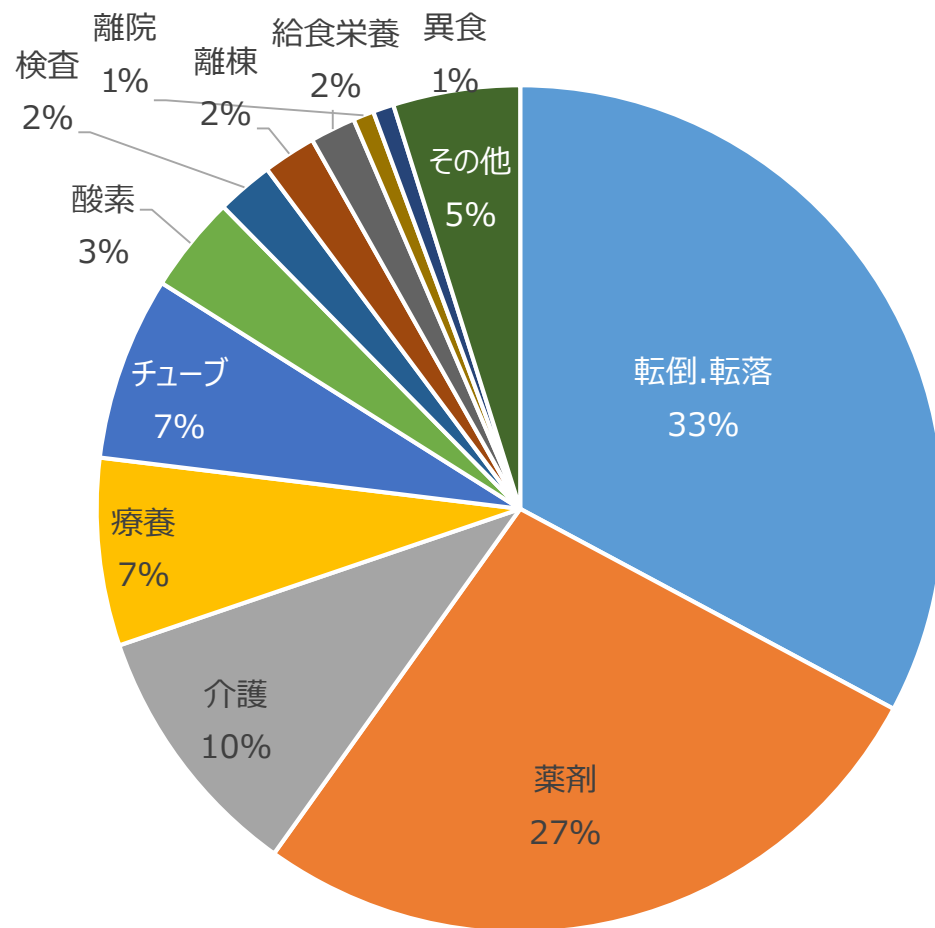
手指消毒使用量
AUD(AUD/DOT)経年チェック
医局へのフィードバック
第3世代セフェムの減少
ICTメンバーによるAS活動
アウトブレイクの分析

新型コロナ感染予防・対策

- 「職員行動指針」現在第21版
- 「発熱外来マニュアル」
- PPE選択基準イラストを各部署に掲示
- 面会制限
- LINE/ZOOM面会手順とお願い文書
- シミュレーション
患者発生、職員発生、PPE着脱
- 「ICTニュース」による情報共有

項目	スコア
A)属性(2週間以内・数値最大の1項目のみ採用)	
①感染者との接触歴	3
②不特定者と職業的接触	2
③繁華街など流行スポットへの訪問	2
B)症状	
①発熱(2日以上)	2
②発熱(2日未満)	1
③咳嗽	1
④咽頭痛	1
⑤原因不明の下痢(2日以上)	1
⑥急性の嗅覚・味覚異常	2
⑦急性の嗅覚の完全脱失(膿性鼻汁なし)	5
C)画像	
①肺野末梢性すりガラス影	2
合計	

医療安全



転倒・転落

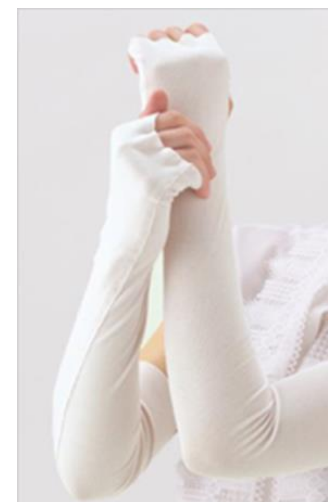
→分析、ベスポジバー、マーク

薬剤

→看護師管理→与薬→投与忘れ

療養・介護

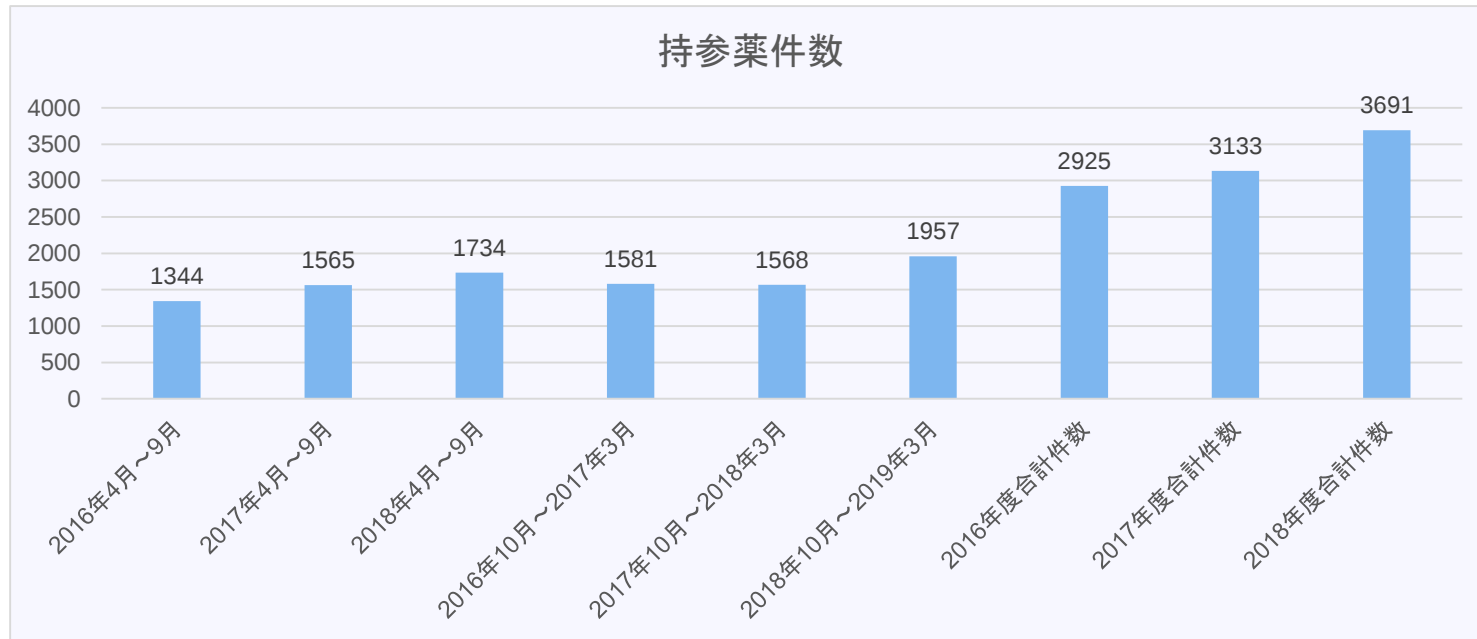
→皮膚剥離→「まもりたい」



薬剤科



薬剤科



- | | | | |
|-----------------|--------|---|--------|
| ・ 当院採用品目数 : | 734品目 | → | 680品目 |
| ・ 後発医薬品目数 : | 337品目 | → | 339品目 |
| ・ 後発医薬品以外の品目数 : | 397品目 | → | 341品目 |
| ・ 後発医薬品の採用割合 : | 83.9% | → | 92.7% |
| | 2015年度 | | 2018年度 |

リハビリテーション技術部 2018年度

- 満足度の向上（目標4.69） → 達成率 102%（4.78）
- 稼働率100%の達成 → 達成率 104.2%
- 通所リハ予算比100% → 達成率 100.2%
- 訪問リハ予算比100% → 達成率 135.0%
- 在宅リハ移行率50% → 達成率 84.8%（42.4%）
- 年40回以上発表・As・講師活動 → 達成率 105.0%（42回）
（学術教育事業開始：外部向け研修1回、ナイトセミナー2回）
- 予防活動に取り組む(15回) → 達成率 166%（25回）
（健康カフェ・ふれあいサロン・よか体スタジオ・フォローアップコース）

栄養科



- 誕生日ケーキ
- 行事食、カレーの日、麺の日
- 「真心のスープ」
- 緩和ケア：
ハーフ食、クォーター食、プラスメニュー
デザートバイキング、素麺パーティー



慢性期病棟の特徴と課題

特徴

- 多職種カンファレンス
 - 定期カンファ
 - リハカンファ
 - ADLカンファ
- 認知症ケア
- 介護士の活動(全員が介護福祉士)
- 生活を支援するリハビリテーション
- 外出/外泊、退院支援
- 終末期ケア

課題

- 在宅退院調整
- 人生の最期まで伴走する
→ACP・緩和ケア・看取り
- 高齢者医療・ケア
 - 安全
 - 認知症ケア
 - フレイル
 - ガイドライン
 - ポリファーマシー



緩和ケア病棟

緩和ケア病棟体制

- 医師（専任3名）

- 看護師（20名）

がん疼痛認定看護師1名
緩和ケア認定看護師1名



- リハビリピスト（PT3名、OT2名、ST0.5名）

日本リンパドレナージ協会上級認定者1名,中級修了者2名

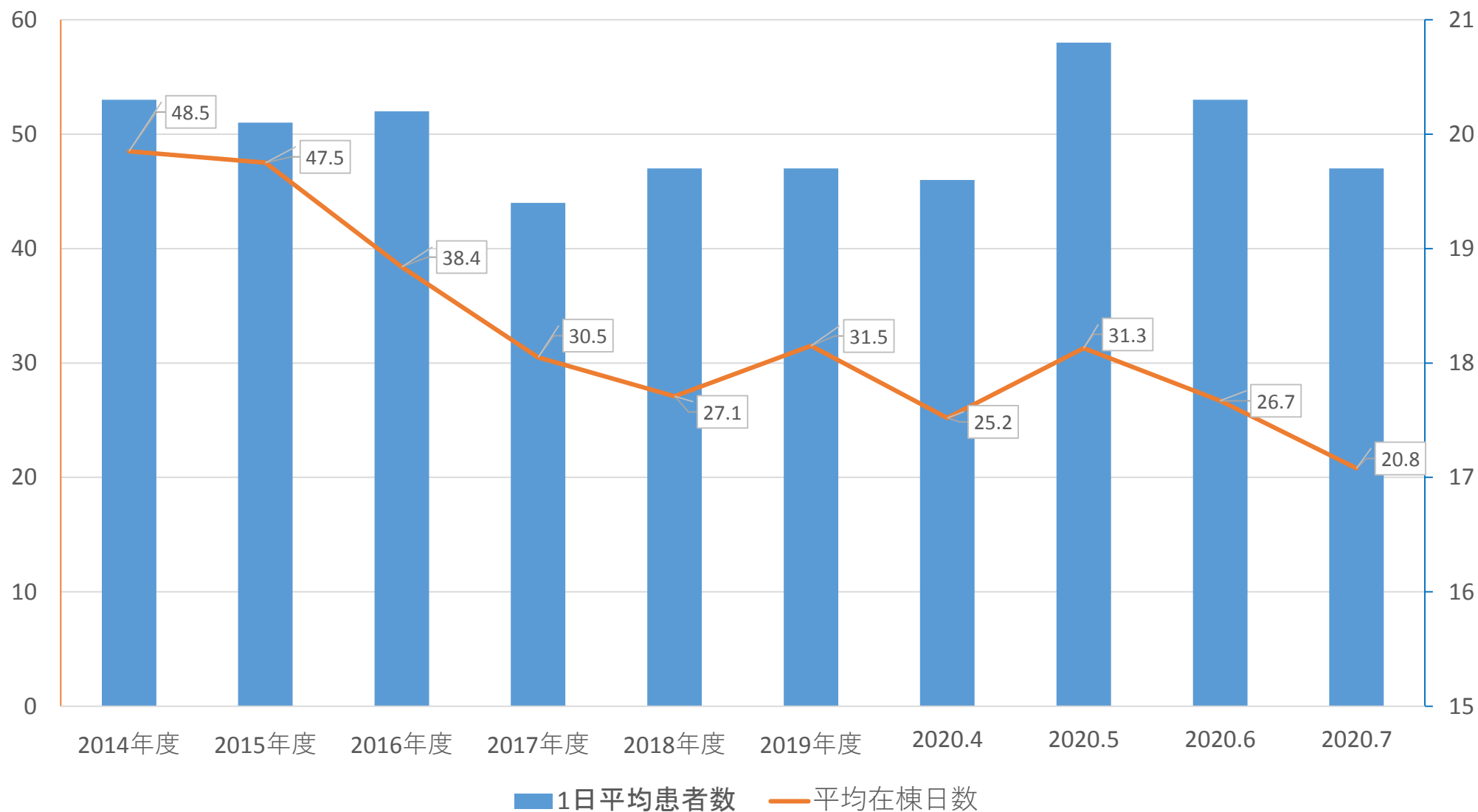
- MSW、栄養士、薬剤師

- ~~臨床心理士（常勤）~~、音楽療法士（週1回非常勤）

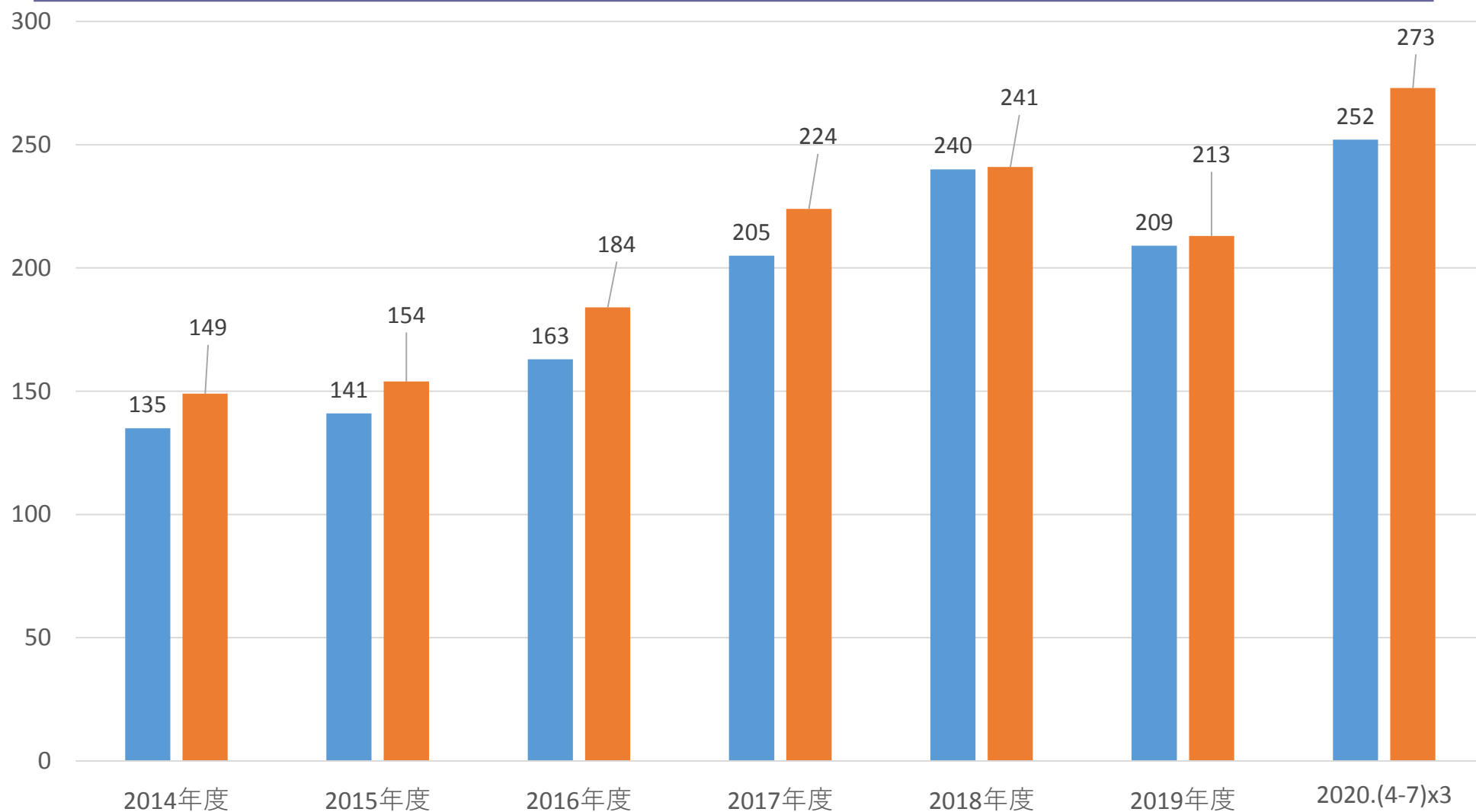
緩和ケア病棟で力を入れていること(病棟の理念)

- 希望があれば在宅へ
退院、外泊、外出をサポートする
外来・訪問診療・入院を一体的に提供する
- ほっとできるアットホームな温かさを提供する
- 緩和ケアにおける リハビリテーションの実践と研究
日常生活動作の改善・維持
リンパ浮腫への取り組み→リンパ浮腫センター開設
がんのリハビリテーションチームの独立
(病棟、外来、家屋調査、廃用症候群、訪問リハ)
- 室料差額を徴収しない(全室個室)
- エンディングについても考えていく

緩和ケア病棟の占床数と平均在棟日数



緩和ケア病棟入退院数



10月：遺族会「陽だまりの会」



音楽療法



がんの親を持つ子どものケア：絵本の読み聞かせ

- 幼児
- 学童
- 学童後半以降



栄養科：プラスメニュー/個別対応



シャーベット



茶碗蒸し



フルーツ盛り



カレーライス



温泉卵



サンドイッチ

リンパ浮腫センター

本 新 聞 2015年(平成27年)5月8日 金曜日 生活 20

げんき日和 I

面についてのご意見、感想
寄せてください。メール、フ
スで受け付けます。郵送の
は〒810-8721(住所不要)、
本新聞生活特報部へ。

生活特報部 FAX 092 (711) 9056 メール seikatsu@nishinippon-np.jp



からリハビリテーション病院のリンパ浮腫センター治
りタツの三原絵美さん(左)と小川朋子さん。手前
もふの圧迫療法で使うスリーブやストッキング



①左腿がリンパ浮腫の患者、
リンパ浮腫センター入院治療
を受ける直前の状態。6週間の入
院治療終了時、左に比べて
いたリンパ液が排出されて、患

リンパ浮腫 専門治療 福岡市の病院
入院にも対応

たたりハビテーション病院(福岡市東区八田)が、リンパ浮腫を外来・
入院で治療する「リンパ浮腫センター」を10月、開設した。がん手術の後
遺症などでリンパ浮腫を苦しむ人は多いが同病院によると、入院治療能まで
備える治療施設は福岡県では初めて。

リンパ浮腫は、何らかの 常生活に支障が生じてしま
原因で、リンパの流れが悪
うことがある。
くなり、腕や脚にリンパ液 治療スタッフの中心は理
がたまって起こる慢性のむ 学療法士の三原絵美さん
くみ。各種がんの手術や放 と、作業療法士の小川朋子
射線治療でリンパ管の障害 さん。2人もNPO法人
が起きてしまい、それで発 さん・日本医療リンパドレナ
症することが多い。それで発 シ協会(横浜市)の講習会
痛みはないケースが多い に参加し、治療の技術を高
が、歩きにくくなったり物 めている。
が握りにくくなったりと日 治療法は①スキんケア②
リンパ浮腫は元は難し
得てもらう。

情報タネ!

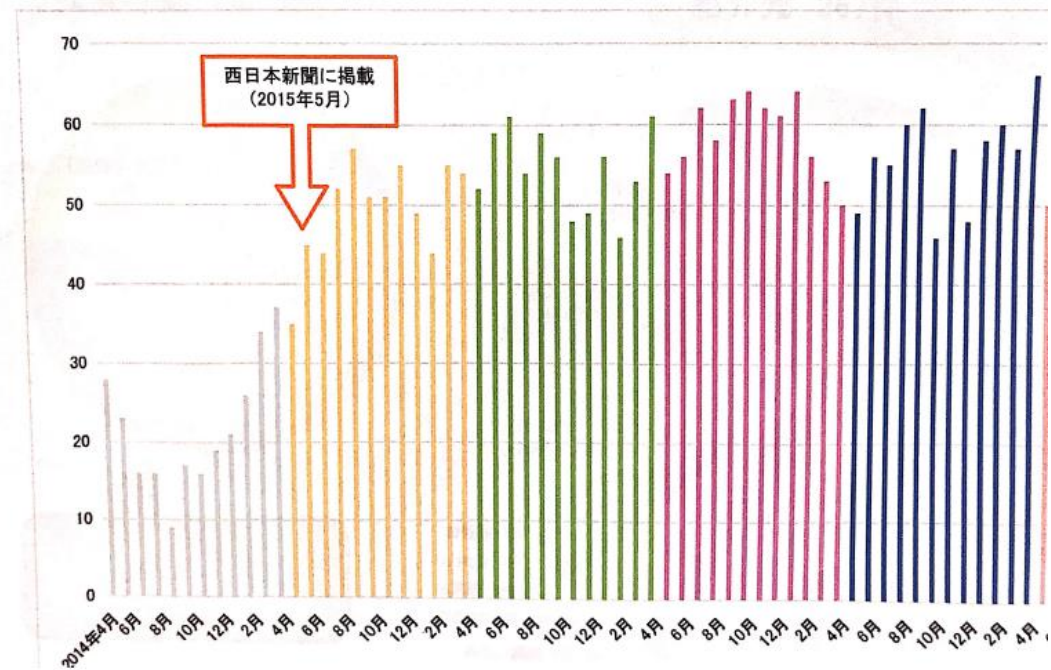
▼元気がんザン 17
日午後1時半〜午後4時
福岡市中央区西3丁目の
市民福祉プラザ・フアチ
ンシャルプラザで胃が
ん患者の池田賢一さん
と、本紙に連載「波多江伸
子」の著者・波多江伸
子(谷豊三朗・九州大名誉
教授)を寄稿している波多
江伸一さんを講師に、エン
ディングノートについて考
える。参加費800円。申
し込みは三谷さん080
(116) 014100(年
前10時〜午後5時)。
【3月20日(木)午後5時

な展覧 6月20日午後1
時半〜4時半、福岡市中央
区天神のアクロス福岡が
ん分子標的療法の進歩。関
野博行・東大大学院教授
▽がんの増殖を抑える小
分子マイトクローニンA箱
澤謙治・東京医科歯科大教
授▽最新の抗がん薬の進
歩。▽治療の進歩について
法(現職)鳥嶋英司・九大
大学院教授の4講演。ハ
ネルデフィカシオンがあ
る。無料。申し込みは6月
2日までに本病学会ホ
ムページなど。市民公

- 開設以来県外からも来院
- 外来・入院治療に対応
- セラピスト4名体制
- 九大・日赤と連携;研究会も

外来のべ利用者件数(2014年4月~2019年6月)

* 2015年5月以降 1ヶ月54件 1日あたり2.5件



患者・スタッフ・地域の健康状態の向上を図る

1. 認知症ケア
2. ノーリフト
3. 禁煙

認知症ケアの取り組み

- 「認知症ケアチーム」
 - ・認定看護師を中心に院内ラウンド
- 職員研修
 - ・バリデーション研修（地域の事業所にも案内）
 - ・事例検討、学習会
 - ・センター方式
- 地域活動
 - ・いきいきふれあいサロン、よか体スタジオ(介護予防教室)、地域カフェ

ノーリフトの取り組み

- スライディングシート
- トランスファーボード
- ロボットスーツ（マッスルスーツ®）

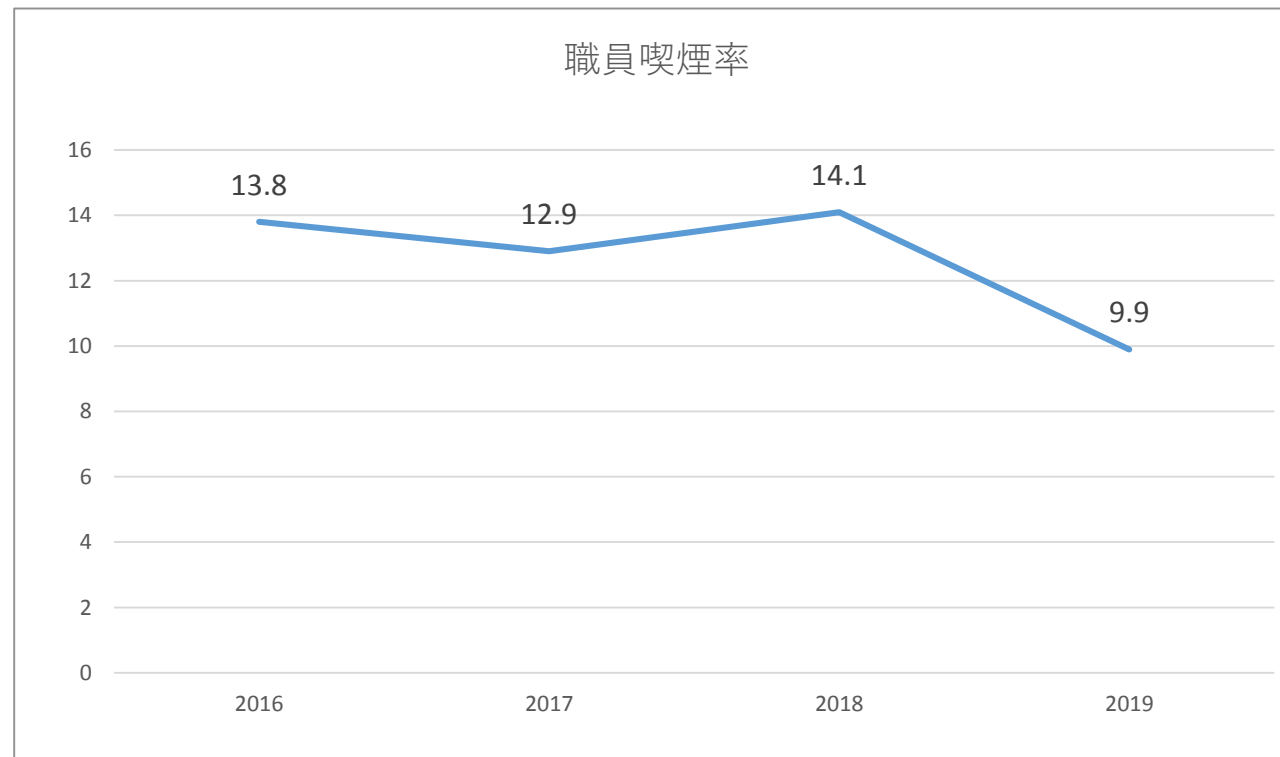
東京理科大学小林宏教授来院
人工筋肉を利用した動作支援

介護現場で試用品



禁煙の取り組み

- 敷地内禁煙（2018年4月～）
- 禁煙外来開始（2019年6月～）
- 職員の喫煙率



倫理委員会

□ 構成

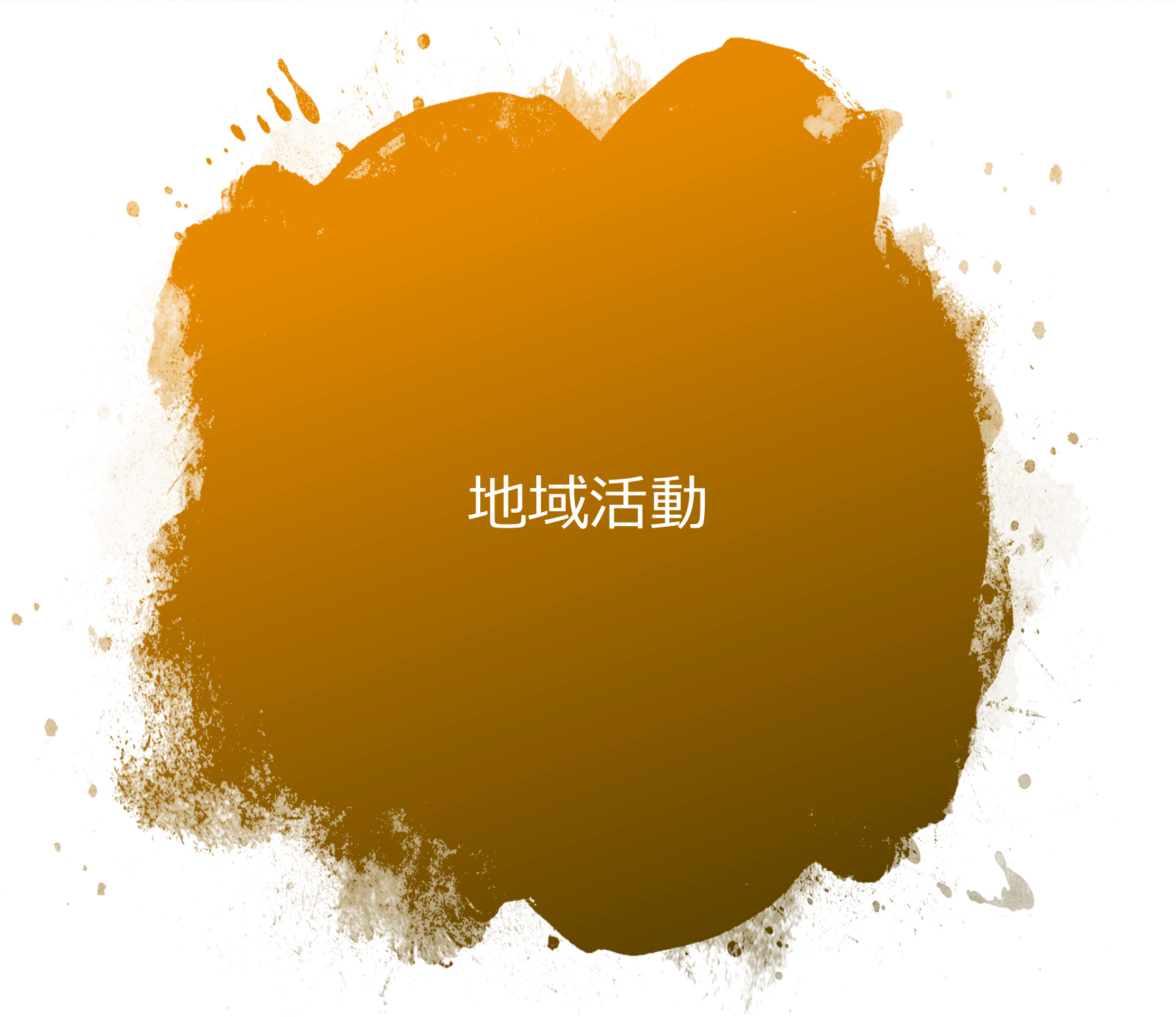
院長、総師長、事務長、各病棟師長、リハセンター科長、MSW科長、弁護士（「患者の権利法を作る会」事務局長）、大学生命倫理研究者、友の会支部長

□ 開催頻度 2ヶ月1回

□ 内容

事例検討を中心に（DNAR、胃瘻造設など）
年1回、臨床倫理4分割法を用いた全職員事例検討会の開催

□ 全職種事例検討（年1回）



地域活動

「いきいきふれあい健康まつり」



毎年開催し地域に定着。1000～1500名の参加。



「しろおカフェおれんじ」

地域の14事業所・団体に運営する
認知症カフェ（多々良公民館）

2019年5月9日 毎日新聞



2017年9月22日 西日本新聞

(第3種郵便物認可)



多々良公民館で毎月1回開かれている認知症カフェ

多々良公民館 専門家相談や情報提供

認知症の人や家族などが気軽に訪れることができる「認知症カフェ」が福岡市東区でオープンした。特別養護老人ホームいきいき八田や、たたらリハビリテーション病院など区内の11団体が連携して取り組む事業。多々良公民館多々良1丁目）で毎月第4土曜の午後2～4時に開いており、予約なしで無料で利用できる。

名称は「しろおカフェおれんじ」。利用者はコーヒーやお茶を飲みながら、他の利用者やスタッフと会話を楽しむことができる。社会福祉士や介護福祉士、ケアマネジャーなどの専門家が交代で待機、相談に応じる。認知症に関する情報コーナーもある。

初回の9月23日には認知症の人や家族など約20人が訪れた。代表を務めるいきいき八田統括部長で社会福祉士の川添大介さんは「大勢の人に利用していただき、まずはつながりを深めてもらえれば」と話す。

福岡市によると、認知症カフェは他に少なくとも市内9カ所で開かれている。（西山忠宏）

東区に認知症カフェ開所

社会福祉協議会主催の地域「ふれあいサロン」にて 認知症予防教室 年5～6回



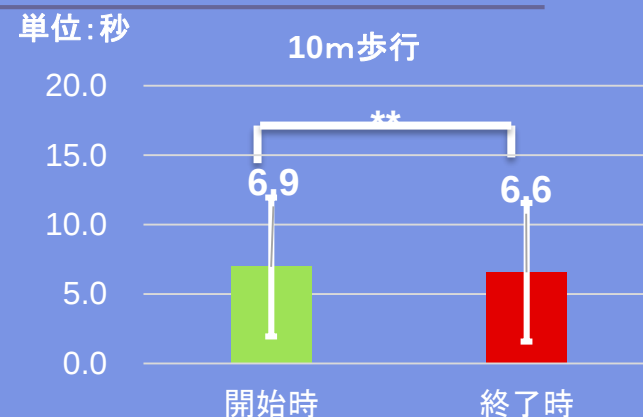
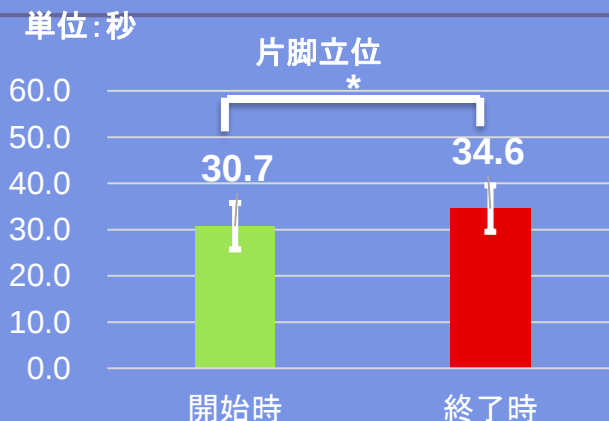
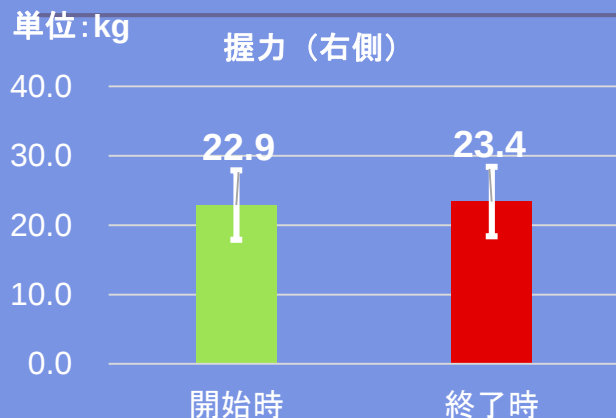
「よか体スタジ^{たい}オ」(介護予防教室)



第1回～第5回よか体スタジオ 《体力測定結果》

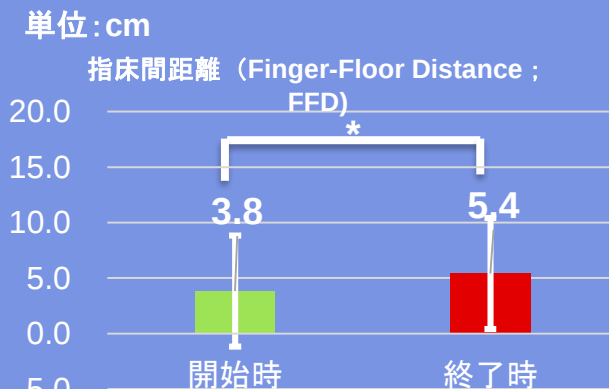
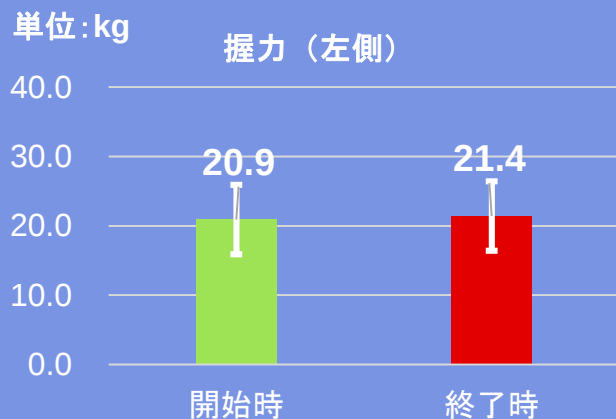
参加者： 男性：9名 女性：69名

年齢：75.3±6.3歳

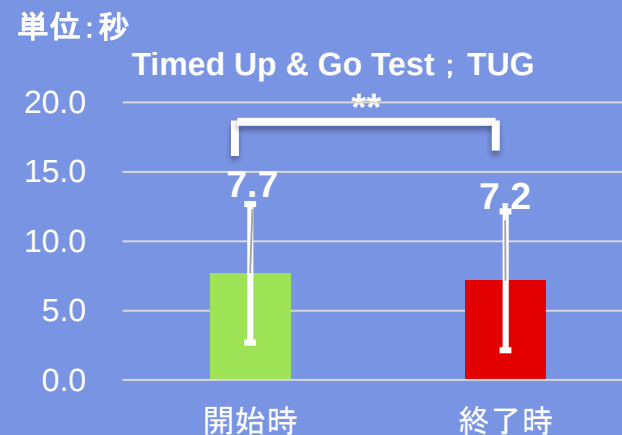


*p<0.05

**p<0.01



*p<0.05



**p<0.01

下肢の筋力訓練とストレッチを中心とした運動プログラムを実施し、コグニサイズのラダー歩行を多く実施した結果、バランス機能や柔軟性、歩行速度に改善を与えたと考えられる。



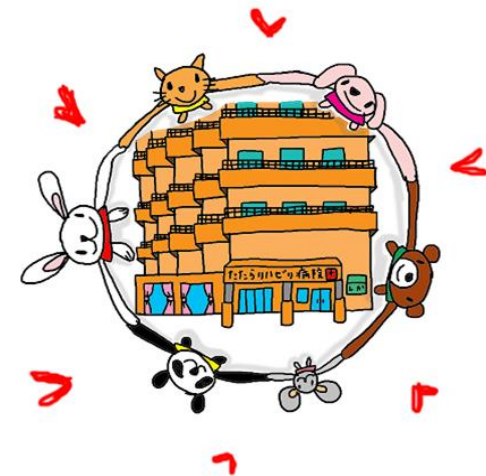
今後の課題

①医療機能、病床機能の見直し

- 慢性期病院（在宅療養支援病院）としての在り方
 - ・後方支援（ポストアキュート）
 - ・在宅患者の急性増悪受け入れ（サブアキュート）
 - ・高齢者医療・ケアの質向上
 - ・在宅診療
- 退院支援機能の強化
 - ・退院支援パス作成
 - ・MSW
- 病棟再編

②在宅診療

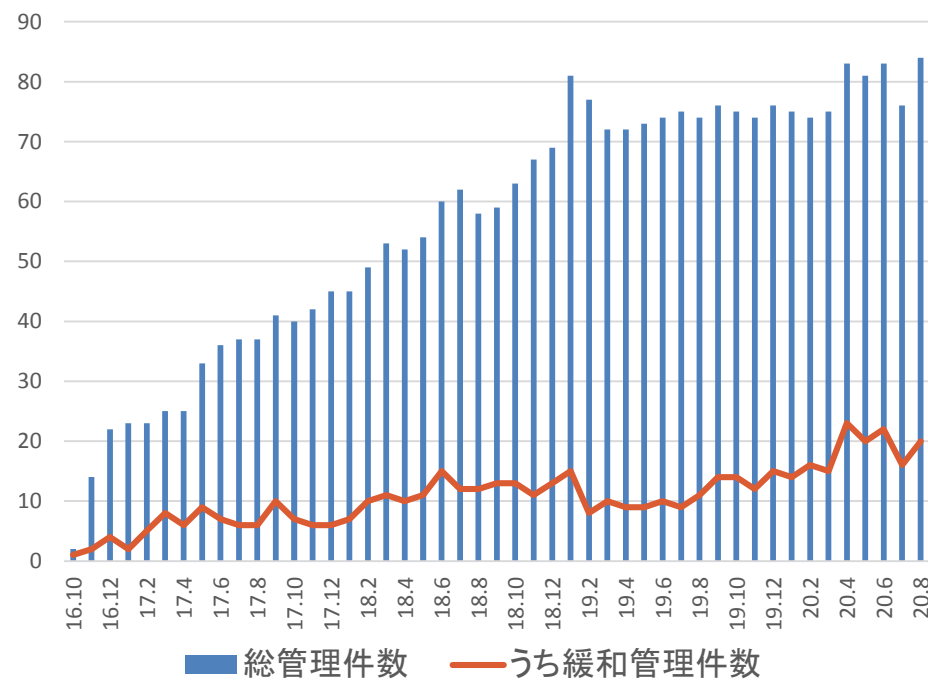
- 2016年9月より開始
実績で在宅看取り20名以上、緊急往診15件以上を満たし強化型に、さらに在宅緩和ケア充実加算を取得。
- 2020年8月約80名の管理件数
- 地域に根差した在宅医療
在宅看取り、在宅緩和ケアに力を入れていく。



訪問診療

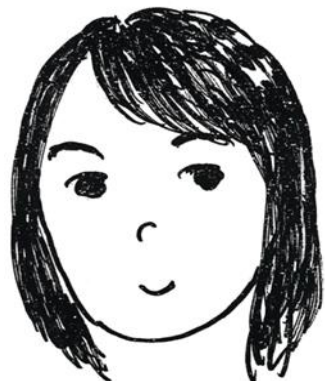
- ・月～金 pm
- ・内科、緩和ケア

管理件数推移



連携が大切！

野澤科長



本堂MSW



大森主任



白水主任



吉田MSW



連携室清水師長



ご静聴ありがとうございました

